

フクシマ連隊キャラバンを終えて

全港湾東北地方

小名浜支部 キャラバン隊団長 矢内誠也

数年ぶりに全国での活動となり、多くの方が参加してくださり、大変嬉しく感じました。この間コロナ禍で制限がある中、キャラバンとしての火を絶やさぬよう地元で、また隣県で続けてきたことが報われたように感じました。

今回キャラバン隊の団長として活動させてもらい、皆さんの協力、そして各地域の労働団体の支えがなければ成功はなかったと思います。

改めて、大変ありがとうございました。

まず実際に被災された方の生のお話を改めて聞けたこと、そして私たちの活動に感銘を受け被災当時のままの自宅を見学させていただけたこと、大変貴重な経験をさせていただけたと思います。

福島駅での署名、街宣は初めてやる方が多かったものの自分の思いや、気持ちを伝え一筆書いていただけたこと良い経験になったと思います。

しかし地元福島でも確実に気持ちが薄れてきていると改めて感じました。今後自分達が脱原発と共にどのように今後のことを訴えていくのか考えて行く必要があると感じました。

また茨城の自治体要請では、私が参加したコースでは毎年の運動へ敬意を表したいと伝えてくださる自治体が多く、毎年しっかりおこなっていることが伝わっていると感じました。

また、最終の代々木での集会でもしっかりとキャラバン隊としてのアピールができたのではないかと考えています。

最後になりますが、全国の様々な団体の仲間と交流をし、お互いの組織についても知れることができ、良い活動につながっていると感じました。